

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201059
事業所名	グループホームやまと紅葉館

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 市内の同一地域に法人の3軒のグループホームがあり、地域との取り組みを合同で行うことも多い。 その一つに「やまと夏祭り」があり、今年も300名ほどの来客でにぎわった。地域の盆踊りグループ「ぼんかい」の踊りや、地域の太鼓保存会による「一宮萩原太鼓」のパフォーマンスで盛り上がった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 地域包括支援センターの職員、町内会長、家族代表等が集まり、2ヶ月に1度の運営推進会議が開催されている。 会議ではプロジェクターを使ってホームの状況を報告し、会議参加者による意見交換を行っている。町内会長からは、公民館祭りへの招聘や地域行事に関する情報が寄せられている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市との連携は法人本部の役割としてすみ分けができており、ホームは運営推進会議を通して市とつながりを持っている。 運営推進会議に出席する地域包括支援センターの職員からは、市の「お知らせ」が配布されたり、市の高齢者の状況が報告されたりしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 法人発行の「やまと通信」が毎月家族に届けられるほか、電話やメール、手紙等を使って、ホームの出来事や利用者の様子・近況を家族に伝えている。 誕生会に際して、利用者から「焼き肉を食べたい」との要望が出た。「焼き肉食べ放題」に皆で出かけて楽しい時を過ごしたが、食べ残した“ご馳走”は、職員が頑張っておなかに入れることとなった。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	